

富士正晴／藤本巧撮影

徳島県立文学書道館 文学特別展

富士正晴と「VIKING」の同人たち

2023年 8月11日(金・祝)～9月24日(日)

- 開館時間／9：30～17：00 ○ 休館日／月曜日(8月14日は開館。9月18日は開館し、翌19日は休館)
- 観覧料／一般 520円(410円) 高校・大学生 360円(290円) 小・中学生 260円(200円)
- ※()内は20人以上の団体割引料金。高齢者(65歳以上)と各障がい者手帳をお持ちの方は半額。小・中・高校生は、土・日・祝日と夏休み期間は無料。
- ※併催の藤本巧写真展「作家の群像 富士正晴とその時代」も観覧できます。

- 会場／徳島県立文学書道館 1階特別展示室、3階収蔵展示室
- 〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1 ○ TEL 088-625-7485 ○ FAX 088-625-7540
- ホームページ <http://www.bungakushodo.jp> ○ メールアドレス kotonoha@bungakushodo.jp

主催／徳島県立文学書道館 後援／徳島新聞社、四国放送



富士正晴 富士家の竹林にて／藤本巧撮影

文学特別展 「富士正晴と「VIKING」の同人たち」 併催

藤本巧写真展「作家の群像

富士正晴とその時代」

2023年 8月11日(金・祝)～9月24日(日)

- 開館時間／9：30～17：00 ○ 休館日／月曜日(8月14日は開館。9月18日は開館し、翌19日は休館)
- 観覧料／一般 520円(410円) 高校・大学生 360円(290円) 小・中学生 260円(200円)
- ※()内は20人以上の団体割引料金。高齢者(65歳以上)と各障がい者手帳をお持ちの方は半額。小・中・高校生は、土・日・祝日と夏休み期間は無料。
- ※同時開催の文学特別展「富士正晴と「VIKING」の同人たち」のチケットで観覧できます。

- 会場／徳島県立文学書道館 1階ギャラリー
- 〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1 ○ TEL 088-625-7485 ○ FAX 088-625-7540
- ホームページ <http://www.bungakushodo.jp> ○ メールアドレス kotonoha@bungakushodo.jp

主催／徳島県立文学書道館 後援／徳島新聞社、四国放送

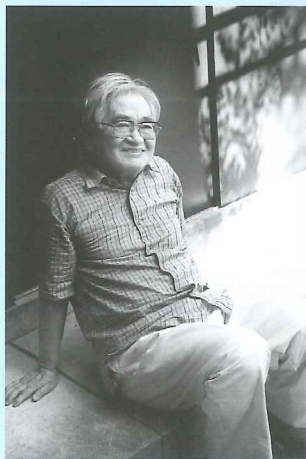


富士正晴（自宅の客間）1984



富士正晴（自宅の書斎）1984

富士正晴を数多く撮影した写真家で、2020年に権威のある写真賞・土門拳賞を受賞した藤本巧（1949年〜）。天野忠、飯沼二郎、貝塚茂樹、金時鐘、桑原武夫、杉本秀太郎、須田剋太、鶴見俊輔、永田耕衣、福田みどり、森南海子、依田義賢ら、富士と関係の深かった作家や文化人の写真も撮影しました。藤本が撮りためた彼らの写真を展示し、富士の作家としての生きざまと、その仲間たちを紹介します。



鶴見俊輔（自宅の庭）2005



貝塚茂樹（自宅の書斎）1985



桑原武夫・田鶴（自宅の女関）1985



藤本 巧（ふじもと・たくみ）

1949年島根県生まれ。独学で写真を習得し、20歳から韓国の風土と人々を撮り続ける。60年、雑誌の取材で富士正晴を撮影。84年の『富士正晴画遊録』、89年の『図録 富士正晴展』で富士正晴の日常と絵を紹介。2020年土門拳賞を受賞。このほか、咲くやこの花賞、韓国文化体育観光部長官賞を受賞。主な写真集に『韓（から）くにシリーズ3部作』、鶴見俊輔との共著『風韻 日本人として』、『ヒロシマ-平和への門は隣人愛によって-』、『寡黙な空間』など。



杉本秀太郎（自宅の書斎）2004



森南海子（大阪・安威）2006

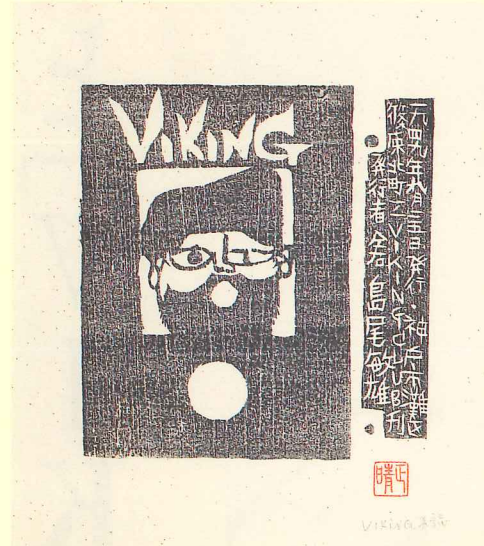


「VIKING」創刊号。表紙の版画は富士が手がけた。富士の詩や島尾敏雄の小説「単独旅行者」を掲載した。

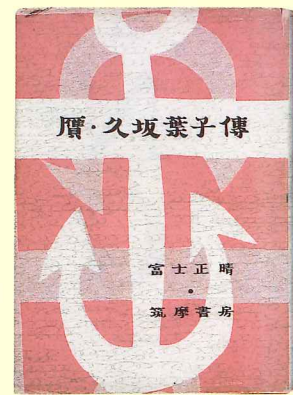
徳島県三好郡山城谷村（現・三好市山城町）出身で、大阪・茨木市で暮らした作家の富士正晴（1913〜87年）。従軍体験を元にした「敗走」「徴兵老人列伝」や敗戦後の生活を描いた「競輪」が芥川賞候補、『帝国軍隊に於ける学習・序』が直木賞候補になったほか、評伝「桂春団治」で毎日出版文化賞を受賞するなど活躍しました。その一方で、戦後間もなく同人誌「VIKING」を創刊。島尾敏雄、庄野潤三、久坂葉子、高橋和巳、津本陽、山田稔ら名だたる作家を輩出しました。



「VIKING」同人たち。2列目右端が富士。その隣が島尾敏雄、後列左から3番目が久坂葉子、前列でアコーディオンを持つのが庄野潤三。



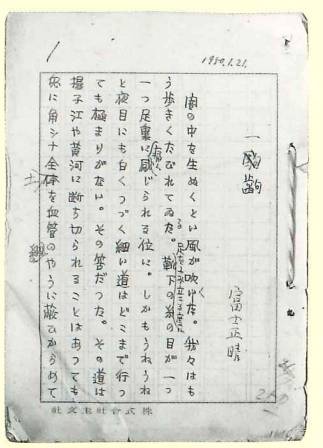
富士が制作した「VIKING」10号の表紙の版画



自殺した同人について富士が書いた『鷹・久坂葉子伝』



富士が手がけた島尾敏雄『単独旅行者』の装丁案



「VIKING」19号に掲載した富士正晴「一駒」の直筆原稿

関連イベント

① ギャラリートーク

日時／8月19日（土）14:00～15:30
講師／藤本巧（写真家）
定員／100人 申込締切／8月8日

② 講演会「富士正晴—老いの達人」

日時／9月2日（土）14:00～15:30
講師／久坂部羊（作家・元「VIKING」同人）
定員／100人 申込締切／8月22日

③ 朗読会「富士正晴を読む」

日時／9月10日（日）14:00～15:00
朗読／朗読サークル「クローバー」
定員／50人 申込締切／8月22日

※申込方法＝はがき・FAX・メールのいずれかに「(参加したいイベント名)○月○日希望」と明記の上、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記入し、お申し込みください。当館1階受付でも申し込みめます。申し込み多数の場合は抽選。

交通アクセス(JR徳島駅から)

■徒歩(約15分)

JR徳島駅西側のポッポ街を抜けて右折。踏切と助任川を越え、3つ目の信号を右折して約300m(徳島中学校東隣)。

■バス

徳島市営バス 7番乗り場「川内循環線(右回り)」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩で約5分。

徳島バス 15番乗り場「前川経由」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩で約5分。

■タクシー・自動車(約5分)

国道192号線、藍場町交差点を北進。助任川を越え、4つ目の信号を右折して約300m。

■高速道路から

徳島インターチェンジから車で約15分。

■駐車場

当館北側にあります(43台、大型バス2台)。

